



日本ダム協会 参事
中野 朱美さん



ダム愛好家
フォトグラファー
星野 夕陽氏



ダムライター
フォトグラファー
萩原 雅紀氏



日本工営
流域・都市事業部 ダム・発電部
西村 香保里さん



ダム工学会会長
(ニュージック副社長執行役員)
濱口 達男氏

先人の継承の大切さ

昔のダムは、よい材料を使用しているものが多く、今のよう な機械がない時代、まさに手つ くりで丁寧に造られている印象 を受けます。こんなに長い間頑 張ってきたダムですから、この 先も長く健全な状態で活躍して ほしい。そのためには何が必要 か? 気を引き締めて取り組ま なければなりません。こんな愛着 がわき、「いかり(五十里)ちやん」などと勝手に呼ばせてい たいです。

西村 タム工学会では、10年 ほど前から毎年11月に開催して おります「学術研究発表会」の 事務局を務めています。それ から、夏休みにはダム工事総括 管理技術者会との共催で運営さ れております「ダムなんでも相 談室」に参加しています。これ は、博士帽をかぶったダム博士 が、子どもたちにダムや水力発 電のことを伝える取り組みで す。手づくりの水力発電機型が 大好評なんです。

5年ほど前からは、若手の会 実行委員も務めています。本 日、司会役の中野さんは、若手 の会立ち上げ時のメンバーとし て活躍されています。
西村 私は、ダム工学会では 現地見学会小委員会と若手の会 の委員を務めています。若手の 会には2007年から参加して おり、スタートから6度にあた り「若手技術者のためのダム見 学会」「語り部の会」といった 活動を展開して、一昨年から 若手技術者のための勉強会に替 わりました。今の大学側は何を やっているか、学生側は何を得 る目的の1つではあります。大 学間の交流が促されることを 期待しながら活動しています。 土木を勉強中の大学生にダムの 魅力を体感してもらうためにダ ムの基礎講座、見学、研究発表 会を開催し、ダム工学会にかかわ る技術者の活性化を図っていま す。参加学生はダム工学会へ入 会したいと考えています。濱口会 長はダム工学会に「これからの 成熟社会を支えるダム貯水場の 課題検討委員会」という委員会 を立ち上げられたのですが、発 会の背景、テーマ、今後の進 め方などについて教えてください。

濱口 国内には高さ15m以上 のダムが2700もあり、国土の面積当たりのダムの密度

先人の丁寧な仕事にわく愛着

で言うと、世界でもトップレベ ルです。ダムは農業用水や飲み 水あるいはエネルギーの供給、 洪水被害の軽減などの役割を果 たして、日本を支えているわけ ですが、ダムが備わっていき、 現在ほとんどのダムが再開発 のような事業が中心になってき ました。それだけ巨大なストラクチャーを抱えたというでもあり ます。これを今後100年、200年、さらに長期にわたって 活用していくことが大事になっ てきます。

一方で、全体の環境としては、 日本は人口の高齢化や人口減少 が進んでいくことがはっきりし ていますし、気候変動の問題で 雨の降り方も極端化、凶暴にな ってきているとの指摘も聞かれ ます。9月の鬼怒川堤防の破壊 なども見られるように、あま 雨が頻発するようになれば、 ダムの洪水調節容量ももっと必 要になってくるだろうと思いま す。そうしたさまざまな背景を 考えた上で、ダムの持つという 役割も時代に応じて、状況に応 じて変えていく必要があると 思います。計画面でもどういう課題があ るかをまず整理していきたい。

さいわいダム工学会は治水、 農業用、発電などそれぞれの分 野の専門家の集団ですので、そ の方々の知恵をお借りして、分 野横断的な解決の方向を見いだ すことを目標としています。実 は本日(10月16日)第1回会合 がありました。何とか任期内に 提言をまとめたかと考えていま す。

西村 下流を洪水から守る目 的に既存のダムの機能を向上さ せる仕事をしてみたいですね。 それからダムを魅力的な場所に していく工夫にも興味がありま す。せつかく公園などをダム周 辺に整備しても、宣伝が足りな かったり、なかなか人が立ち寄



ダムマニアによるイベント「日本ダムアワード」と金のメトロライトのトロフィー



つてくれなかったりして、残念 ながら廃れていくケースがある ので、そういうところをどうや ったら盛り上げていけるか、可 能性に挑戦してみたいですね。

ダムを勝手に表彰

西村 ところで、ダムファン の方々によって毎年、お台場・ 東京カルチャーセンターでイ ベントが開催されています。趣 向を凝らしたアイデアで毎回盛 り上がっていますが、その経緯 と今後の展開をご紹介下さい。

西村 私は今後はどんな 仕事をしたいかという点に注 意したいです。A4に折り畳ま れた、いろいろなダムでもらっ てるものがあつたらいいな、 全国でフォーマットが統一され たカードを配りたいといういな いかと話をしたところ、会場 に国交省の関係者が来ていて、話を進んで、1半年ぐらいたっ て誕生したのが「ダムカード」の 始まりです。

学生や若手に交流・体感の機会

好評だったので、2年目も開催 し、お台場会場にいまま年に 1回の開催が続いています。ダ ムアワードもそのイベント の一環で思い立ったアイデアで す。僕はダムが好きで、だいたい ダムのことについて話してきました。 そうした中、ダム関係者の洪水 調節や低水管理が正当に評価さ れるべきだという応援の気持ち が起ってきたら、ならば僕たちタ ムファンが勝手に頑張ったダムを 表彰しようというところになっ ました。それがダムアワードのいき さつです。

ダム好きの中に、3次元CAD ができる仲間がいます。、ト ロフィーの制作を担ってもら いました。大賞にはリアルゲー トをモチーフにした金のメトロ ライト像を、部門賞にはクレ ストゲート像を、部門賞にはクレ ストゲートを彫った盾を贈らせ ていただきました。13年は日 吉ダムが洪水調節賞とダム大賞 に輝き、14年は早稲浦ダムが洪 水調節賞・ダム大賞を受賞しま した。ダムアワードはぜひいま 続けていければと思っています。

濱口 トロフィーの画像は拝 見できますか。
萩原 僕のスマホに入ってい るので、すべお見せできます。
西村 タムマニアの皆さん、 タキシード姿でカッコよく勢ぞ ろいされて、まるでアカデミー ショー授賞式のようにですね。

水力発電の見直し

濱口 タム工学会はことし発 足25周年を迎えて、その記念イ ベントとしてワイズダムナイト を全国各地で開催しています。 タム工学会として今後どうい う方向に力を入れていけるか、 あるいは会員としてどうか わかっていきたいか、アイデア をお聞かせ下さい。

西村 タム技術者の皆さんに もっとダムマニアになってほし い。自分が造ったダムとか、か かわったダムに詳しいのは当然 前のことです。プロとしてほ 他はのダムのことでもっと知 っているという人が、一 般市民を対象にしたダム見学会 なのに、専門用語をそのまま使 った説明する技術者もたまにい ます。僕らダム好きは9割方理 解できると思うんですけど、普 通の見学者だと恐ろしく分ら ない言葉だらけだろうと思うこ とがあります。分かりやすい言 葉で説明できる技術者がもっと 増えてほしいと思います。 また、これはダム工学会が適 任なのかどうか分かりませぬ が、一般の人がダムに行くため の窓口がほしいなと思っています。

総説 岩盤の地質調査と評価

■本書は、岩盤の地質調査と評価について岩盤のボーリング調査技術をベースに総合的、体系的に解説したものです。
■本の内容
【第1編】 岩盤の地質調査とボーリング調査技術一般
【第2編】 ダムサイトの地質調査
【第3編】 堤体材料の地質調査
【第4編】 斜面の地質調査
【第5編】 ボーリング調査技術と管理・保管

B5判 上製 550頁
(価格)15,750円(税込)
(編集)一般社団法人ダム工学会
(発行)株式会社古今書院

問い合わせ先: 株式会社古今書院
TEL: 03-3291-2757 FAX: 03-3233-0303

フィルダムの変位計測に関するGPS利用マニュアル

■フィルダムの変位計測にGPSを利用するため計測位置の選定、設置方法から運用、維持管理に關する具体的な課題と対応方針を整理、とりまとめたものです。
■本の内容
【第1章】 概説
【第2章】 ダムの安全管理
【第3章】 GPS測位
【第4章】 GPS自動計測装置
【第5章】 GPS計測点配置の基本的な考え方
【第6章】 現場に設置する機器の設置方法と留意点
【第7章】 報告
【第8章】 メンテナンス、維持管理

A4版・140頁
(価格)2,500円(税込・送料別)
※ダム工学会会員は2,000円
(編集)一般社団法人ダム工学会 計測管理研究部
(発行)一般社団法人ダム工学会

問い合わせ先: (一社)ダム工学会事務局
TEL: 03-5815-4161 FAX: 03-5815-4162

ダム基礎における立体的岩盤透水性の把握手法

■岩盤の透水性の客観的な指標である割れ目の性状と透水性の関係を解明し、ダム基礎岩盤の立体的透水性の分布を把握し得る、合理的かつ有力な手段を提供するものです。
■本の内容
【第1章】 概説
【第2章】 岩盤透水性区分の検討手法
【第3章】 調査・設計段階における岩盤透水性区分図の作成手順
【第4章】 施工段階における岩盤透水性区分図の確認
【第5章】 岩盤透水性区分の検討事例
【第6章】 複数の地層の透水性性状の違いに着目した立体的岩盤透水性の検討事例

A4版・約400頁
(価格)5,000円(税込・送料別)
(編集)ダム基礎岩盤透水性研究会
(発行)一般財団法人ダム技術センター

問い合わせ先: 一般財団法人ダム技術センター
TEL: 03-5815-4161 FAX: 03-5815-4162 Mail: books@jdec.or.jp

台形CSGダム 設計・施工・品質管理技術資料

■台形CSGダムの設計・施工・品質管理の実際を、豊富な実例とともに詳しく解説した実務必携の一冊。
■本の内容
【第1章】 台形CSGダムの概要
【第2章】 材料の調査およびCSGの試験
【第3章】 試験施工
【第4章】 確認試験
【第5章】 品質管理
【第6章】 施工

A4版・約350頁
(価格)3,000円(税込・送料別)
(編集)台形CSGダム技術資料作成検討会
(発行)一般財団法人ダム技術センター

問い合わせ先: 一般財団法人ダム技術センター
TEL: 03-5815-4161 FAX: 03-5815-4162 Mail: books@jdec.or.jp

ダムの地質調査
—ボーリング・調査坑・トレンチ—

■本書は、さまざまな地質調査のうち、ボーリング・調査坑・トレンチに焦点を絞り、調査および調査結果の解釈にあつた留意点等について、図や写真を中心に解説したものです。
■本の内容
【第1章】 ダム事業の段階と地質調査
【第2章】 各種地質調査手法の概要と発展
【第3章】 ボーリング調査
【第4章】 調査坑調査
【第5章】 トレンチ調査

A4版・約360頁
(価格)6,000円(税込・送料別)
(著者)中村 康夫
(編集・発行)一般財団法人ダム技術センター

問い合わせ先: 一般財団法人ダム技術センター
TEL: 03-5815-4161 FAX: 03-5815-4162 Mail: books@jdec.or.jp